



議会だより

なよろ



2015 . 7 . 1 発行

37
No.



第2回定例会

新議会構成	2 ~ 4
定例会で決まったこと	5 ~ 6
一般質問に 13 人・議会報告会日程	7 ~ 13
政務活動報告・議会スナップ	14 ~ 15
議員協議会・議会日誌	16
各委員会活動報告	17
きぼう・編集後記	18

まりました

副議長に佐藤 靖氏



佐藤 靖 副議長（新任）

略歴（合併後）

総務文教常任委員長（平成19年5月から23年4月）
議会運営委員長（平成23年5月から平成27年4月）を歴任。

新名寄市議会議員として当選3回。

会派は市民連合・凜風会



野田 三樹也 議員



山崎 真由美 議員

所管

総務部・会計室・選挙管理委員会・公平委員会・監査委員・教育委員会及び名寄市立大学の所管に属する事項



塩田 昌彦 議員



浜田 康子 議員

所管

市民部・健康福祉部・名寄市立総合病院及び名寄市風連国民健康保険診療所の所管に属する事項

議長が市民福祉常任委員会の委員を辞退したため塩田議員を委員に選任しています。



川村 幸栄 議員



東川 孝義 議員

所管

経済部・建設水道部及び農業委員会の所管に属する事項

平成27年第1回臨時会(5月13日)

議会構成が決

議長に黒井 徹氏



黒井 徹 議長(再任)

略歴(合併後)

議会運営委員長(平成19年5月から23年4月)
民生常任委員会副委員長(平成21年10月から
23年4月)を歴任し、平成23年5月から議長。
新名寄市議会議員として当選3回。

会派は市政クラブ・新緑風会

総務文教常任委員会

委員長



東 千春 議員

副委員長



高野 美枝子 議員

委員



佐藤 靖 議員



山田 典幸 議員

市民福祉常任委員会

委員長



熊谷 吉正 議員

副委員長



大石 健二 議員

委員



佐々木 寿 議員



高橋 伸典 議員

経済建設常任委員会

委員長



奥村 英俊 議員

副委員長



川口 京二 議員

委員



塩田 昌彦 議員



佐久間 誠 議員

議会運営委員会

委員長 山田典幸
副委員長 奥村英俊
委員 東千春
" 熊谷吉正
" 大石健二
" 高野美枝子
" 東川孝義
" 山崎真由美

議会報特別委員会

委員長 川村幸栄
副委員長 塩田昌彦
委員 高橋伸典
" 高野美枝子
" 東川孝義
" 野田三樹也
" 山崎真由美

上川北部消防事務組合議会議員

黒井 徹
塩田昌彦
奥村英俊

名寄地区衛生施設事務組合議会議員

東千春
高橋伸典
熊谷吉正
川口京二
佐久間 誠
東川孝義
浜田康子

名寄市監査委員

佐々木 寿

名寄市議会議員会

会長 熊谷吉正
副会長 川村幸栄
幹事 塩田昌彦
" 高橋伸典
" 野田三樹也
監事 東川孝義
" 高野美枝子

森林・林業・林産業活性化推進議員連盟

会長 東川孝義
副会長 高橋伸典
事務局長 奥村英俊
幹事 浜田康子
" 野田三樹也
監事 川村幸栄
" 川口京二

名寄市都市計画審議会委員

大石健二
佐久間 誠

会派構成

市政クラブ・新緑風会

代表 東千春
代表 大石健二
副代表 佐々木 寿
幹事長 山田典幸
幹事長代行 東川孝幸
会計 塩田昌彦
幹事 川口京二
黒井 徹

市民連合・凜風会

会長 熊谷吉正
副会長 佐藤 靖
幹事長 奥村英俊
副幹事長兼会計 高野美枝子
佐久間 誠
山崎真由美
浜田康子

公明

代表 高橋伸典

日本共産党

代表 川村幸栄

名風会

代表 野田三樹也

平成27年 第2回定例会 6月1日～6月15日

名寄市立大学図書館の 工事請負契約締結案を可決

平成27年第2回定例会は6月1日に開会し、6月15日までの15日間を会期とし、23件の議案について審議しました。現在、名寄市立大学では平成28年4月の社会保育学科の設置に向けて準備を進めています。教育環境のさらなる向上をめざし、名寄市立大学図書館の工事請負契約案を可決しました。議案審議では条例案8件、補正予算案4件、その他11件、報告7件、諮問・推薦2件、意見書案8件、請願1件の審議を行いました。

6月11日、12日、15日の一般質問には新人議員5人を含む13人が市政の課題等について質問しました。

条例の制定及び一部改正等

名寄市上下水道事業経営審議会条例の制定

上下水道事業の安定経営を目的として上下水道事業経営、受益者負担のあり方、料金等に関して審議するため設置するものです。

名寄市高齢者自立支援事業

条例の一部改正

自立支援ショートステイ事業

業について、介護報酬の改定が平成27年8月1日から施行になることから利用料を改正し、負担軽減を図るものです。

名寄市介護保険条例の一部改正

介護保険法の改正により、

平成27年4月から公費を投入して低所得者の第1号保険料軽減強化を行うことになったことから、介護保険料の所得段階が第一段階に該当する方の保険料を改正するものです。

主な補正予算

社会保障・税番号制度システム整備事業

社会保障・税番号制度に対応するためのシステム改修を行うため1177万円を追加しました。

地域子育て支援センター整備事業

地域子育て支援センター整備事業

現在、東保育所内で行っている子育て支援センター「さくらんぼ」を親林館に移転するため、5224万円を追加しました。

スキー場整備事業費
ピヤシリスキー場第1リフト最終支柱索受整備工事他4件の工事を実施するため867万円を追加しました。

人事案件

人権擁護委員の候補者の推薦に同意

関下 富士夫氏(再任)

名寄市風連町仲町188番地11

村中 弘美氏(新任)

名寄市風連町新生町225番地

名寄市農業委員会委員に推薦

薦

矢吹 祐子氏(再任)

名寄市字朝日625番地6

五十嵐 雅美氏(再任)

名寄市字智恵文15線北21番地

住田 美紀氏(再任)

名寄市風連町字中央166番地

東 さおり氏(再任)

名寄市風連町字瑞生3430番地

臨時会(5月13日)

改選後の初議会として、正副議長の選挙、各常任委員会委員の選任、議会運営委員会委員の選任、議会報特別委員会の設置及び委員の選任、名寄市区衛生施設事務組合議会議員の選挙、上川北部消防事務組合議会議員の選挙を行った後、5件の議案について審議を行いました。

人事案件

名寄市固定資産評価審査委員会委員の選任について同意

大谷 純二氏(再任)

名寄市西4条南10丁目10番地

有門 優氏(再任)

名寄市風連町字西風連1700番地

高谷 恵美子氏(再任)

名寄市西4条南9丁目14番地2

名寄市監査委員の選任に同意

意

佐々木 寿氏(新任)

名寄市大通南12丁目42番地1

平成 27 年第 1 回臨時会議決結果

議案番号	議 件 名	結 果
議案第 1 号	専決処分した事件の承認について（名寄市税条例等の一部改正について）	承 認
議案第 2 号	専決処分した事件の承認について（名寄市都市計画税条例の一部改正について）	承 認
議案第 3 号	専決処分した事件の承認について（名寄市国民健康保険税条例等の一部改正について）	承 認
議案第 4 号	名寄市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同 意
議案第 5 号	名寄市監査委員の選任について	同 意

平成 27 年第 2 回定例会議決結果

議案番号	議 件 名	結 果
議案第 1 号	名寄市上下水道事業経営審議会条例の制定について	原案可決
議案第 2 号	名寄市高齢者自立支援事業条例の一部改正について	原案可決
議案第 3 号	名寄市介護保険条例の一部改正について	原案可決
議案第 4 号	名寄市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第 5 号	名寄市都市公園条例の一部改正について	原案可決
議案第 6 号	名寄市立大学条例の一部改正について	原案可決
議案第 7 号	名寄市立大学の授業料等徴収条例の一部改正について	閉会中審査
議案第 8 号	名寄市民会館条例の廃止について	原案可決
議案第 9 号	財産の取得について（除雪ロータリ車 1 台）	原案可決
議案第 10 号	専決処分した事件の承認について（平成 26 年度名寄市一般会計補正予算）	承 認
議案第 11 号	専決処分した事件の承認について（平成 26 年度名寄市国民健康保険特別会計補正予算）	承 認
議案第 12 号	専決処分した事件の承認について（平成 26 年度名寄市介護保険特別会計補正予算）	承 認
議案第 13 号	専決処分した事件の承認について（平成 26 年度名寄市下水道事業特別会計補正予算）	承 認
議案第 14 号	専決処分した事件の承認について（平成 26 年度名寄市個別排水処理施設整備事業特別会計補正予算）	承 認
議案第 15 号	専決処分した事件の承認について（平成 26 年度名寄市食肉センター事業特別会計補正予算）	承 認
議案第 16 号	平成 27 年度名寄市一般会計補正予算（第 1 号）	原案可決
議案第 17 号	平成 27 年度名寄市介護保険特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決
議案第 18 号	名寄市過疎地域自立促進市町村計画の変更について	原案可決
議案第 19 号	工事請負契約の締結について（名寄市立大学図書館建築主体工事）	原案可決
議案第 20 号	工事請負契約の締結について（名寄市立大学図書館電気設備工事）	原案可決
議案第 21 号	工事請負契約の締結について（名寄市立大学図書館空調換気設備工事）	原案可決
議案第 22 号	平成 27 年度名寄市一般会計補正予算（第 2 号）	原案可決
議案第 23 号	平成 27 年度名寄市下水道事業特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決

（賛否の分かれた議案）

（賛成） ×（反対） 欠（欠席） 退（退席）

議案番号	議 件 名	議員名																	
		東川	塩田	川口	山田	大石	佐々木	東	黒井	浜田	山崎	奥村	高野	佐久間	熊谷	佐藤	高橋	川村	野田
議案第 2 号	名寄市高齢者自立支援事業条例の一部改正について	孝義	昌彦	京二	典幸	健二	寿	千春	徹	康子	真由美	英俊	美枝子	誠	吉正	靖	伸典	幸栄	三樹也
																		×	

公（公明） 共（共産党） 名（名風会） 議（議長） 議長は表決に加わりません。

第 2 回定例会で次の意見書を提出することに決定しました。

- 安全安心の医療・介護の実現、医療介護従事者の大幅増員と処遇改善を求める意見書
- ドクターヘリの安定的な事業継続に対する支援を求める意見書
- 認知症への取り組みの充実強化に関する意見書
- 義務教育費国庫負担制度堅持・負担率 1/2 への復元、「30 人以下学級」の実現をめざし、就学保障充実など 2016 年度国家予算編成における教育予算確保・拡充に向けた意見書
- 地方財政の充実・強化を求める意見書
- 道教委「新たな高校教育に関する指針」の見直しと地域や子どもの実態に応じた高校づくりの実現を求める意見書
- 平成 27 年度北海道最低賃金改正等に関する意見書
- 安全保障法制の慎重審議を求める意見書

一般質問



農、雪、インフラ質す

市民連合・凜風会 佐久間 誠議員

農村振興をはかれ

問 政府は食糧自給率目標を50%から45%に引き下げ、TPPの先行きにも危機感をもつ。農業の振興をはかるために、農業生産物の加工、販売 後継者育成と支援制度 生産物のブランド化と情報発信について伺う。

答 輸送コストの上昇により販売先の集約化が求められている。現在の販売圏域を中心に道北なよる農協と連携し取り組む。加工については研究機関と連携し、情報提供や技術的支援をしていく。新規就農者への助成制度は各種ある。経営や栽培技術の支援は担い手育成センターや、農業者の意見を聞き取り組んでいく。「原産地呼称制度」の創設で、広くPRし、名産ブランドの確立に向け取り組む。

除排雪のモデル地区創設を
問 空き地などの借上げで町内会の雪の堆積場所の確保

を。また、「住民との協働による除排雪モデル地区の創設」を考えては。

答 生活路線など地域ごとの除排雪に対して、空き地の借上げ等、身近な所で雪堆積場を確保することにより、雪に対する課題解決の可能性が考えられる。提案いただいた住民協働の除排雪対策について、今後調査・研究していきたい。

他の質問 ・くらしに直結するインフラ対策、国保税徴収のあり方



早急な整備が待たれる 18 線橋



特徴活かした育成を

市民連合・凜風会 山崎 真由美議員

スポーツを核に青少年育成を

問 スポーツ少年団に対する支援状況と、全国中学校スキー大会等全国大会出場に向けた地元選手育成について伺う。

答 少年団に対する具体的支援として名寄市体育協会への補助金の内、150万円をジュニア強化費として充てることにしており、登録人数による助成、また、強化合宿を行った際に助成をしている。風連地区においては、風連町スポーツ少年団連絡協議会をとおして、各少年団に育成費としての活動助成金を交付している。今後予定されている「全国中学校スキー大会ノルディック種目」、「JOCジュニアオリンピックカップスキー大会」に向け、地元の子ども達が一人でも多く参加できるように競技団体・指導者との連携を図りながら、競技力向上に努めていく。

児童生徒の安全安心確保を

問 体力差や地域環境を考慮した通学距離と通学方法について伺う。

答 遠距離から通学する児童生徒の通学費を補助することで、通学に対する負担軽減を図っている。小学生については、前期(4~9月)が4、後期(10~3月)が2。中学生はそれぞれ、6 と3 であるが、小学生の体力差等を考慮し現在設定の距離がこの地域に適切であるか調査研究していく。

他の質問
・ 公共施設におけるリスクマネージメントについて



練習に励むジュニア選手

一般質問



人にやさしいまちづくり

市民連合・凜風会 浜田 康子 議員

コミセンの利用状況について

問 平成25年2月名寄市風連地区地域振興審議会からの「地区の公の施設管理、運営方法及び利活用に関すること」の答申を受け、その後の検討はされているのか。

答 「今後においても市が管理者として施設の管理、運営をすることが望ましい」との答申を受け、西町コミセンについては、町内会以外の利用も多くあり、その取り扱いを他のコミセンとは区分している。平成26年2月に各町内会長と意見交換を実施しているが、平成22年度と同様の意見が多く、地域の歴史や経緯に配慮し、今後とも地域と話し合いながら進めていく。

デマンドバスについて

問 今後の路線利用者への対応について。

答 運行範囲の拡大については、旧下多寄線の代替機能と交通空白地帯を解消するた



交通弱者に優しいバス運行を

めに地区を設定した。範囲の拡大は、既存路線と重なる部分もあり困難であると考えている。今後は、アンケート調査等により時代の変化に対応した運行になるように努め、利便性向上及び効率的な公共交通となるように検討していく。

他の質問・施設の老朽化に伴う考え方について・風連駅前バス待合所について



明るく元気なまちづくり

市政クラブ・新緑風会 東川 孝義 議員

名寄市の実態と評価は

問 商店街や本市財政などの危機感をあおる指摘があるが、その実態は。また、地方創生への取り組みは。

答 合併自治体固有の課題である地方交付税の段階的な減額、終了による市財政への影響を考慮し、一定の備えを行ってきた。今後、策定する第二次総合計画の事業内容を十分に精査して堅実な財政運営に努めていく。地方創生は、広く関係者の意見を反映するために、官民が一体となったオール名寄で地方総合戦略の策定に取り組んでいく。

食と観光の振興を

問 過去における観光行政の歴史認識を踏まえ、現在の進化した情報化社会のなかで、交流人口拡大の具現化に向けてどのような施策を考えているのか。

答 以前から地域資源にはある程度恵まれていたが、観



交流人口拡大への貢献が期待されるエンレイホール

光地としては未整備の状態が長く続いた。現在は、観光開発が行われ、名寄特産のPRも行っている。各種取り組みにかかわる情報提供については、瞬時に発信でき、広がりも期待できるフェイスブックの専用ページを作成し、旬な情報発信に努めるなど、食と観光資源に磨きをかけ、交流人口の拡大を目指していく。

他の質問・天塩川を起点とする食を通じた、広域的な観光行政について・名寄産業高校（名農キャンパス）の展望について

一般質問



家屋解体の助成制度を

市政クラブ・新緑風会 東 千春 議員

空き家の解体助成を

問 適正に管理されていないと思われる空き家の状況と、法律の施行に伴う今後の取り組みについて。市条例の施行にあわせて家屋解体の助成制度を設けては。

答 平成26年度の冬季間の調査では管理不全と思われる家屋は81戸。空家等対策の推進に関する特別措置法の施行に伴い市では、仮称「名寄市空家等対策協議会設置条例」を制定して適正な管理を必要とする家屋に対して対応できる体制を整える。名寄市の実情に即した空き家等対策計画を策定する。解体の助成は、今後策定を予定する空き家等対策計画の中で他市や国の動向を踏まえて研究する。

雇用と経済について

問 名寄で働くための支援制度について。住宅リフォーム等の経済対策について。中小企業への支援のあり方は。

障がい者の雇用について。

答 市外からの雇用確保は、人材不足への対応、商工業振興の底上げ、さらに定住人口増加などの効果もあり検討する。住宅リフォームは移住対策、空家対策の視点を加え名寄市まち・ひと・しごと創生総合戦略のなかでも並行して検討する。起業時の複数支援は他の要望もあり国の創業支援とあわせて進める。障がい者の雇用は他市より進んでいるがさらに就労支援の充実を図る。

他の質問・快適な都市整備



子ども達の笑い声が響く街区公園整備を

子育て支援の充実を



子育て支援に一步前進

市民連合・凜風会 高野 美枝子 議員

問 現在、利用している団体や南広場でのイベントへの対応やオープン後の利用形態について。

答 親林館での子育て支援センターは10月中にオープンする予定である。改修工事期間中は施設利用ができないが対応する準備はできている。

支援センターは今までは午前中のサービスマ提供であったが、オープン後は、午前9時から正午までと午後1時30分から午後4時までの開放を予定している。施設南に芝生を張って遊戯スペースを設置する。60組の受け入れが可能で、専任職員2人と利用者支援専門員（子育てコンシェルジュ）1人の3人体制とする。

早期に空き家条例制定を

問 空き家対策の進捗状況や今回の制度改正を受けての対応について。

答 平成26年度に空き家調

査を実施し、管理不全な空き家が81戸あった。調査結果をもとに所有者情報をデータベース化し定期的に更新する。仮称「空家等対策協議会」の設置を検討中である。必要に応じて意見を聞く機会をもつけていく。

他の質問・名寄市立総合病院の現状と課題について・道北の拠点病院としてのあり方について・医師看護師の現状と課題について・駐車場について。



親林館を子育て支援センターに改修

一般質問



教育と市民の声から

名風会 野田 三樹也 議員

子どもたちの教育

問 特別支援教育の現状と今後の対策について

答 小中学校の特別支援学級の状況を見ると、学級数は減少しているが、在籍する児童生徒は増加している状況にある。今後において一人ひとりの児童生徒の障がいの状態等に応じた指導内容・指導方法を工夫することが緊要な課題になっている。これらの課題を踏まえて、特別支援教育学習支援員等を配置し児童生徒への支援の充実を図る体制を整えるとともに、特別な支援を必要とする児童生徒に対する授業については、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業へと改善を図るよう進めていく。

市民の声から

問 生活道路の現状と今後の整備予定について

答 市街地の道路延長は、名寄と風連の両地区をあわせて



補修を待っている生活道路

151・3であり、舗装率は約70%となっている。未改良道路のうち、公共施設沿線や住宅地に張りついている路線や幹線道路に連絡する路線などを優先的に、国交省の交付金事業等により整備を行ってきている。道路整備については、現在、予定どおりの進捗状況までは至っていないが、次期総合計画において整備の必要性の高い路線を見極めたなかで見直しを図り、より計画的に道路整備を進めていく。



暮らし対策について

市政クラブ・新緑風会 塩田 昌彦 議員

商店街の活性化対策

問 プレミアム付き「なよろ地域商品券」の取り組み及び周知は。

答 国の交付金を活用し、商

工会議所及び商工会が実行委員会を組織し実施するもので商品券の購入にあたり、広報記事掲載ページを持参、一世帯3セットまで購入が可能、広報の配布がなかった希望者は商工会議所及び商工会での購入の際に、住所・氏名を伝えて購入が可能である。昨年実施したプレミアム商品券事業を教訓に、地元商店での消費拡大を図るため、地元消費に限りお笑いライブスピードくじなど独自企画を実施することになった。さらなる周知徹底に向けて努力する。

PG場オープンの考え方

問 パークゴルフ場の早期オープンに向けた取り組み。

答 健康の森コースは、冬季のクロスカントリーコースに



プレミアム商品券で商店街の活性化を

使用されており、例年の融雪作業に支障を来さず状況にあるが、健康の森を管理する名寄振興公社と一日でも早いオープンに向け協議する。本年は、5月1日にオープンしたが、今後においては、融雪剤の散布や雪割作業など早期着手に心がけ、対応する。**他の質問**・旧名寄市公設地方卸売市場の今後の対応・老人福祉行政除雪サービス等の助成事業について

一般質問



市政クラブ・新緑風会 川口 京二 議員

安全安心なまちづくり

蛾の防除について

問 市民との協力体制の構築と駆除道具の貸し出し・ホームページへの掲載・防犯灯のLED化への考えは。

答 市民に対して広報を通して自宅周辺での卵や幼虫の駆除協力を呼び掛けている。また、駆除道具の数が確保できていないため、貸し出しの考えはないが、ホームページにも掲載して周知する。LED化は、防犯灯の整備が目的だが来年度以降も年次計画として進める予定をしている。

問 交通安全対策について

問 市民ホール開設による周辺地域の交通量増大に伴う交通安全対策及び冬季の道路幅員確保の考えは。

答 ホール前の道路に横断歩道を設置したが、その他の具体的な安全対策は持ち合わせていないため、今後の状況を見極め、どのような安全対策が必要か周辺住民とも協議

する。また、幹線道路の排雪は降雪量によってシーズン中2回から4回を予定している。交差点については、見通しを確保するため交差点排雪や拡幅排雪も考えている。道道の交差点は、北海道へ交差点排雪と砂の散布を要望する。

他の質問 観光客増に向けた取り組みについて・浸水対策と市道の排水整備について・日進ピヤシリ線運行バスの冬季運行時間の変更について・町内会の活動支援の現状

答 平成26年度は全国44団体1511名が活躍し、政府も平成28年度まで3000人の増員を目標としている。本市も4人が農業支援員として3年間の任期後の就農を目指しているが、移住定住対策の協力隊員も効果的だ。今までの成果を検証するとともに、その他の分野で名寄の強みを活かした受け入れ方法も検討して、定住に結びつける考えである。

地域おこし協力隊を

問 地域協力活動を行いな

答 平成26年度は全国44団体1511名が活躍し、政府も平成28年度まで3000人の増員を目標としている。本市も4人が農業支援員として3年間の任期後の就農を目指しているが、移住定住対策の協力隊員も効果的だ。今までの成果を検証するとともに、その他の分野で名寄の強みを活かした受け入れ方法も検討して、定住に結びつける考えである。

ふるさと納税の推進を

問 「ふるさとを応援したい、貢献したい」と寄付することで特産品等がもらえ、所得税が安くなる魅力から、全国でも町税収入を上回る地域もある。本市も地域の特産品の選

定に二子口畜産やSPF豚生産者との連携も含めた検討は。

答 ふるさと納税特産品贈呈事業の現状は、14年件数で前年の23倍の733件、寄付額は1187万円の寄付となっている。全国的に知名度があるとは言いつれず、今後、事業を通じて安全安心な農産物やおいしいスイーツなど地域ブランドとして知名度アップに貢献していく。

他の質問 春先の凹凸の安全な道路整備について。



大量発生が予想されるクスサン(上)とマイマイ(下)



おいしい名寄産の返礼品



公明 高橋 伸典 議員

若者の定住定着対策を

一般質問



山田 典 幸 議員
市政クラブ・新緑風会

担い手を支える施策を

支援策について

問 地域農業発展のためには担い手育成・支援策の充実が何よりも重要と考えるが、今後の取り組みに対しての考え方は。

答 当市においては、担い手への支援として農業農村振興条例に基づき、各種支援措置を設けている。今後も北海道農業担い手育成センター等の事業も併せ、関係機関・団体と連携しながら取り組んでいく。また、「人・農地プラン」において今年度、地域の中心となる農業者を対象に調査を実施する予定であり、その取り組みを通じて、若い担い手の抱える課題や現状の問題点などを集約し、今後の施策に反映できるように検討していく。

人と農地の問題について

問 高齢化や後継者不在などによる農家戸数の減少に伴い将来農地の受け手がいない地域が顕在化している。現状

と今後の対策は。

答 当市においては、60歳以上の経営者が全体の半数を超えており、後継者がいる経営者の割合は18%となっている。今後、高齢化と後継者不足により耕作放棄地や遊休農地がさらに発生することが懸念されるため、農地流動化の推進、多様な担い手の育成とあわせて、法人化や共同経営組織なども視野に入れながら地域全体で農地集積のあり方を検討していきたい。



地域全体で担い手を育てよう



熊谷 吉 正 議員
市民連合・凜風会

未来へ向かうまちづくり

合併10年の総括と展望

問 人口減少分析と政策課題、財政見通し、次年度からの第二次総合計画の取り組みは。

答 合併後9年で2612名減少したが、本年中に要因分析人口ビジョンを提示し、子育て支援の充実、産業振興等、人口抑制策を具体化する。財政指数は健全化傾向だが、国の交付税の見直し、合併算定替、人口減等厳しくなる。長期的視点で公共施設等事業を厳選し計画に反映したい。

市民の声、地域の声

問 中山間部の農地保全、安心して生活できる環境改善を求める。公営住宅入居事情の改善を。墓地管理と共同納骨塚設置の検討を。マイナンバー制度の中断申し入れと個人情報保護及び漏えい問題の不安解消、対策を求める。

答 高齢化、離農等による不

作付地の増大が懸念されるので継続的保全対策が必要だ。

弥生地区吉岡橋は修繕した。周辺の土砂崩れは、理事者としても現場調査する。携帯電話等、電波不感地域は改善に取り組み。公営住宅の抽選方法の改善に取り組み。墓地の実態調査をしているが、無縁墳墓や不明者等課題がある。高齢化に関わり納骨塚設置はニーズを把握し他市を参考に調査検討する。マイナンバー問題等不安やリスクに対応していく。個人情報総合行政システム等で厳格に運用管理している。



小さいが命の橋（弥生吉岡橋）

一般質問



子育てに支援を

日本共産党 川村 幸 栄議員

合併10年間の検証を

問 合併10周年を迎えるにあたりハード面、ソフト面から検証することが必要。記念事業で市民一体となつて盛り上げたいとのことだが、一過性にせず次につなげていくためにも検証が必要である。考えは。

答 庁内で検証が進んでいるが、合併時の新市建設計画に基づいた現在の総合計画の検証こそが、合併に関する検証と考えている。

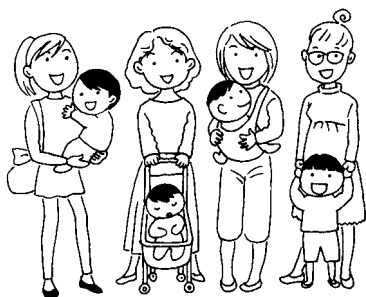
みなし控除の適用を

問 婚姻歴のないひとり親は、税制上の寡婦(夫)控除を受けることができないため、寡婦控除のみなし適用を行っている自治体がある。市の考えは。婚姻歴のない母子世帯の年間就労収入は160万円といわれる。子どもの貧困をつくらないためにも、子育て支援の取り組みとしての考えは。また、乳幼児を抱えた母

親の外出の機会を増やす取り組みとして授乳やおむつ交換などができる授乳室の設置の考えは。

答 みなし控除は各種使用料の算定で導入している自治体がある。子育て支援の観点から対象事業の選定も含め検討したい。授乳室は、親林館で10月オープン予定の子育て支援センターの利用者から意見を聞くなどして、実施内容や方法を検討していきたい。

他の質問・ごみ処理施設の延命化の取り組みについて・法改正に伴う自衛隊派遣に対する市長の考え方について



子育ての応援で住みよい街づくり

議会報告会を開催します

名寄市議会の1年間の活動を報告するとともに、市民の皆さんの議会に対するご意見を伺いたいと思います。お近くの会場にぜひお集まりください。

月 日	時 間	場 所
7月27日(月)	午後7時00分～	智恵文多目的研修センター
7月28日(火)	午後6時30分～	風連庁舎 中会議室(3階)
7月29日(水)	午後1時30分～	市民文化センター 大会議室
	午後6時30分～	駅前交流プラザ「よろーな」 大会議室

議会各会派の政務活動報告

市政クラブ

平成26年度は、道外視察を7月22日～25日の日程で行いました。茨城県小美玉市では、「小美玉まるごと文化ホール計画」について視察を行い、文化ホールの運営方法や、近隣の他のホールとの連携について学びました。香川県東かがわ市では「統合庁舎整備事業」について説明を受け、合併自治体における庁舎のあり方について学びました。高松市では「高松丸亀町商店街振興組合における中心商店街活性化事業」について、愛媛県松山市では「坂の上の雲のまちづくり」について、それぞれ本市においても課題とされている事項や、観光振興による自治体の活性化策について調査・研究を行いました。



小美玉市 四季文化会館「みの一れ」を視察

市民連合・凜風会

平成26年度は、7月に名古屋への施策反映を目的とし、長崎市と広島市で「平和行政」について、佐賀県多久市で「小中一貫教育」について、長崎市と多久市で「空き家対策」について、福岡市民病院の「市立病院経営改革」について、山口県光市で農業振興の拠点施設「里の厨（さとのくりや）」と社会全体で子育てを応援することを目的とした「おっぱい都市宣言」について調査研修を行ってきました。また、11月には東京都荒川区で現在は自治総合研究所が進めている「荒川区総幸福度運動」について、江戸川区では子供専門図書館であり子供たちの研究活動の拠点でもある「子ども未来館」について調査研修を行いました。



長崎の原爆犠牲者の鎮魂と永遠の平和を願う平和祈念像

新緑風会

当会派の平成26年度政務活動は、昨年8月に石川県金沢市で開催された『第6回生活保護問題議員研修会』に参加。同研修会の受講は、保護基準の大幅引き下げに加えて、生活保護「改正」法と生活困窮者自立支援法の成立により、現行制度史上初めて生活保護制度の大改革が行われたことに触発されて選択したもので、今回の大改正により、何が变わって何が変わらないのか。また地方行政に求められることは、できることは何なのか。研修会では、各分野の専門家を講師に、具体的な事例を参考に実践的な対応について学んだほか、利用当事者のママの声を聞いてみる機会もあり、生活保護費の現場が内包する課題等を再認識しました。



利用者が現況を報告

日本共産党

7月23日～25日、函館市と青森県大間町で建設途中の大間原発について、青森市では「子どもの権利条例」等について、黒石市ではミニバス（コミュニティバス）「ぱらっと号」について視察をしました。強行日程でしたが、非常に充実した視察となりました。子どもの貧困や虐待が大きな社会問題となっている今こそ、本気で子どもの権利条例制定に向けて取り組むことが必要であると強く感じました。また、黒石市のミニバスでは、病院の軒下が停留所となっており、患者さんの立場に立った取り組みに感心し、「本市においてもぜひ実現を」と求めたところ、引き続き視察事項を参考に、積極的な提案をしていきたいと思えます。



建設中の大間原発

議会各会派の政務活動報告

公明

自治体
連携の
補完に
おける
議会の
役割が
話され
ました。



旭川林産林業試験所を視察

8月4日北方研究所と林業試験所・林産試験所にて、良道産材を使用した集成材とCRT工法の普及、地域のエネルギーとして道産材の普及と雇用の拡大を調査研究しました。11月15日自らの資質向上を図り、地域や国の課題・政策を全道のネットワークで創造し、新しい政治文化作りを目指す「グリーンシード」²¹の二十周年記念式典に参加し、グリーンシードの活動の目的や成熟社会における議員活動のあり方では、議員定数・報酬・会派・政務活動費が話され、地域再生への挑戦では、少子化問題・新たな議会の到着点。また、課題では、議会基本条例の意義、議会改革、

清風クラブ

清風クラブは、政務活動費の支出はありませんでした。

政務活動費とは

政務活動費は、議員の調査研究に必要な経費の一部として、会派（所属議員1人の場合も含む）に対して交付されます。【交付額は議員1人当り、月額10,000円です。】

平成26年度各会派の政務活動費概要報告

単位：円

	市民連合・凜風会	市政クラブ	新緑風会	清風クラブ	日本共産党	公明	合計
政務活動費交付額	950,000	830,000	240,000	120,000	120,000	120,000	2,380,000
返還（未執行）	0	0	0	120,000	1,614	86,807	208,421
H26年度交付額	950,000	830,000	240,000	0	118,386	33,193	2,171,579
支出							
調査研究費	946,185	1,021,814	268,103	0	74,554	0	2,310,656
研修費	5,000	0	0	0	16,510	33,193	54,703
広報費	0	0	0	0	4,482	0	4,482
広聴費	0	0	0	0	0	0	0
要望・陳情活動費	0	0	0	0	0	0	0
会議費	0	0	0	0	0	0	0
資料作成費	0	0	0	0	0	0	0
資料購入費	0	12,823	0	0	22,840	0	35,663
人件費	0	0	0	0	0	0	0
事務所費	0	0	0	0	0	0	0
計	951,185	1,034,637	268,103	0	118,386	33,193	2,405,504

掲載していませんが、交付額を超えた費用については、会派で負担しています。

議会スナップ

チャレンジデー（5月27日）

今年で22回目を迎えたチャレンジデーの綱引きに議員会として参加。惜しくも1回戦で敗退となりましたが、普段の運動不足を少しでも解消することができました。



議員協議会(6月1日)

本会議終了後に開催された議員協議会では、名寄振興公社、名寄市社会福祉事業団の経営状況等について報告を受けました。

名寄振興公社の関係では、未収金や過年度消費税調整額の内訳、行政報告と事業報告書の事業概要の表記の差異についての質疑や合宿や観光客を誘致のための営業努力が必要であるとの意見が出されました。

また、社会福祉事業団の関係では、昨年発生した虐待事件に対する再発防止策、職員倫理観の向上や職員研修等により人材を育成し市民や利用者等に対する信頼回復に努めることを求めました。



さらなる経営努力を求めた議員協議会

地方創生総合戦略検討特別委員会を設置

第2回定例会において、地方創生総合戦略の重要性を強く認識し、諸施策への対応等を検討することを目的として特別委員会を設置しました。会期中に委員会を開催して委員長に佐藤靖委員、副委員長に川村幸栄委員を選出しました。

お詫びと訂正

議会だより36号(4月1日発行)の記載内容に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

【平成27年第1回定例会議決結果】(P4)

件名	誤	正
名寄市議会委員会条例の一部改正について	議案第45号	議案第46号
名寄市議会議員の議員報酬等の特例に関する条例の一部改正について	議案第46号	議案第47号
名寄市議会会議規則の一部改正について	議案第47号	議案第48号
名寄市みんなを結ぶ手話条例の制定について	議案第48号	議案第45号

【議会日誌の見出し】(P6)

誤	正
議会日誌4~6月	議会日誌1~3月

合併10年を迎え、さらなる市民生活の向上のため開かれた議会をめざします



議会日誌 5~6月

- 5/1 各会派代表者会議
- 5/11 各会派代表者会議
- 5/12 各会派代表者会議
- 5/13 平成27年第1回臨時会
各会派代表者会議
総務文教常任委員会
市民福祉常任委員会
経済建設常任委員会
議会運営委員会
議会報特別委員会
- 5/14 上川北部市町村議長会

- 5月定例会・総会
- 5/20 市民福祉常任委員会
- 5/21 総務文教常任委員会
- 5/22 各会派代表者会議
- 5/25 北海道市議会議長会
道北支部議長会
(名寄市)
- 5/27 議会運営委員会
議会報特別委員会
- 5/28 ~ 29 北海道市議会議長会
定期総会・研修会
(岩見沢市)
- 5/29 経済建設常任委員会
- 6/1 各会派代表者会議

- 平成27年第2回定例会開会
- 議員協議会
- 6/2 経済建設常任委員会
- 6/3 議会運営委員会
- 6/9 経済建設常任委員会
- 6/10 議会運営委員会
- 6/11 議会運営委員会
- 6/12 議会運営委員会
各会派代表者会議
- 6/15 定例会閉会
議会運営委員会
地方創生総合戦略検討特別委員会

委員会活動をお知らせします

総務文教常任委員会

平成27年5月21日委員会を開催いたしました。改選後実質審査としては最初の委員会であり、各所管部署より報告を受け質疑を行いました。総務部では企画課で、地方創生総合戦略の策定他8件、総務課でマイナンバー制度他3件、防災・法制・訟務担当では自主防災組織について他2件、情報システム担当では情報化推進事業について、財政課では公共施設等総合管理計画について報告を受けました。

教育委員会では学校教育課、生涯学習課・名寄公民館・市民ホールなど全10件の報告を受けました。

名寄市立大学では学生の在籍状況など現状について6件、定例会提出予定議案について、27年度の事業について説明を受けました。



市民福祉常任委員会

平成27年5月20日に委員会を開催し、所管部の市民部、健康福祉部、市立総合病院の当面の課題説明を受け質疑を行いました。市民部は、平成26年度国保特別会計決算見込み、特定空き家対策の条例化予定等。健康福祉部は、臨時福祉給付金給付事業、低所得者向支援事業、第2期名寄市地域福祉計画策定事業、子ども子育て支援新制度移行状況、名寄市生活困窮者自立支援事業等。市立病院は、平成27年度業務体制、平成26年度決算の概要、救命救急センター設置経過と上半期中に運営開始、院内保育所改築等について説明を受けました。



経済建設常任委員会

委員会を5月29日に開催し、平成27年度における経済部所管の農林業施策の概要、商工労働観光交流施策の概要、農業委員会の所管事項、建設水道部所管の約52億5千万円に係わる主要建設事業の概要、平成26年度の除排雪の状況、「北海道の都市再生まちづくり検討業務」モデル都市協力の成果報告、名寄市公設卸売市場の廃止手続きについてなど主要施策についての説明を受けました。6月2日と9日に開催した委員会では、定例会で付託を受けた「名寄市上下水道事業経営審議会条例の制定について」の審査を行い、設置の趣旨や委員の構成、会議のあり方についてなどの質疑があり、原案のとおり可決すべきものと決定しました。



議会運営委員会

平成27年第2回定例会の日程及び議事運営等を協議するため、計6回の委員会を開催しました。会期を6月1日から15日までの15日間とするこゝと、13人の議員が一般質問を行うことを確認しました。議案第1号の名寄市上下水道事業経営審議会条例の制定についてを経済建設常任委員会に、議案第7号の名寄市立大学の授業料等徴収条例の一部改正についてを総務文教常任委員会にそれぞれ付託することを確認しました。また、当委員会に付託された請願第1号国へ「戦争法（平和安全法制整備法、国際平和支援法）案の廃案を求める意見書」提出の請願については全会一致で不採択とすべきものと決定し、最終日に委員長報告を行いました。



☆ き ぽ う ☆



私を感じたこと
 名寄市西5条南4丁目 向井 和栄

私は見舞いに病院に行っています。そして入院されてい

る患者さんを見つめてきました。

目を伏せると75年前がよみがえり身が緊張します。太平洋戦争の真ただ中、私は当時の事を良く覚えています。

男性は見られなく殆ど女性でした。駅員、郵便局、商店、配給所だけ女性と高齢の男性がいました。私達少年は毎日水田で働きました。

そして終戦、すべての女性が一生懸命働きました。この祖国が今日あるのは、武器を持たぬ戦いに、歯を食いしばり我慢と辛抱をしたこの方たちの結晶です。

私が、今ここで見ている病床の方々は今の祖国を築いてくれました。今は自分でご飯を食べることも、歩くことも、声も出ませんがこの方々があって今日の祖国があるのです。私たちは尊いこの方達を感謝の心で大切に見守りましょう。



YEGとして地域への感謝
 名寄市西6条北1丁目 畑中 憲一

名寄商工会議所青年部（名寄 YEG）平成27年度、歴代

会長の情熱を引き継ぎ6代目の会長を仰せつかりました。名寄 YEG（メンバー総数39名、特別会員2名含む）の会長として、さまざまな経験をさせていただいているところです。

今年度も名寄 YEG を一つのチームとして、会員一人ひとりが積極果敢な行動をし明るく元気にワクワクするような毎日を過ごし、私達が住んでいて“いいな”と思える笑顔あふれる名寄は、必ず名寄を訪れてくれた人も“いいな”と思ってもらえるはず...と思います。

これからも日夜を問わず、わずかな時間でも意見を交わし日頃お世話になっている地域への感謝を忘れず目標を達成するために全力で取り組み日々研鑽を重ねていこうと思います。

表紙の写真紹介

今回の写真は、平成28年3月に閉校となる東風連小学校の運動会の写真を掲載しています。106年という歴史に幕を閉じることになりますが地域の住民とともに東風連小学校としては最後の運動会に汗を流していました。



議会報特別委員会

わかりやすい紙面づくりを
 改選後の市議会において
 今任期中も議会報特別委員
 会を設置して、議会の正確
 な情報を、市民にいち早く
 お知らせし、より透明性の
 高い、市民に開かれた運営
 を目的に、議会だよりの編
 集、発行及び調査研究を行
 います。市民の皆さんに親
 しまれる広報紙となるよう
 に努めていきます。

編集後記

改選後初の今定例議会では、新人議員5名を含め13名が一般質問を行いました。市民のくらしに関わる問題や基幹産業である農業問題などについて活発な議論が行われたところです。議会報特別委員会も新たに7名でスタートいたしました。市民のみなさんに議会をより身近に感じていただくべく、工夫しながら、編集に取り組んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。その第一歩として、表紙の題字を市内の各小中学校の児童会長・生徒会長のみなさんにお願することとしました。さっそく、校長会のお許しもいただき、東小学校の児童会長さんをお願いいたしました。未来の名寄市を担う子どもたちの力強い題字に負けないよう、内容の充実には励みたいと思います。7月には議会報告会を行う予定です。たくさんのご参加をいただきます。議会報についても忌憚らないご意見等お寄せいただければ幸いです。（幸）

